



第10回CLA懇話会開催に当たって

代表世話人 菅野道廣
(九州大学・熊本県立大学名誉教授)

皆様方の絶大なご支援、ご協力により、CLA懇話会が第10回の記念講演会を開催する運びとなりましたことを、衷心より厚くお礼申し上げます。

10年前、すでに米国を中心にCLAに関する研究が広範に行われ、多くの魅力的な知見が提示されていきました。わが国でも関心を集め、ようやく研究の進展が見られるようになった頃でした。CLAの機能性は余りにも多岐にわたりため、総合的視野からの理解なしには到底研究の進展は望めず、知識の交換ができる場を設けることが不可欠でした。そこで、平成11年8月、九州大学の山田耕路教授と語り、この懇話会を立ち上げる運びとなったわけであります。わが国の研究会等では、いろんな意味で規制の取れた運営が常道となっており、それが若手研究者あるいは専門外者にとって強烈なバリアーとなっていることは否めません。諸外国におけるように、自由に意見の交換ができる集りを組織できないか、とくに、CLAのように研究者が限られている領域ではバリアーフリー化が必須ではないかと考え、雰囲気だけでも近寄りやすいように、研究会ではなく「懇話会」として発足させました。そして、「会長」は置かず、「世話人」が取りまとめていくことしました。

発足当時から、それまでのCLA研究の実績を踏まえて、「新規性のある研究を」をスローガンに「創造性」を求めて会の運営に努めてきました。会員の皆様のご理解、ご協力を得まして、お陰様で世界に太刀打ちできる研究が積み重ねられてきましたことは、同慶の至りです。さいわい、日清オイリオグループ（株）から長年にわたり格別のご支援を受け、本懇話会を維持できましたことに深甚の謝意を表します。また、コグニスジャパン（株）始め、援助を頂きました多くの企業にも併せて厚くお礼申し上げます。

そのような背景から、10周年を記念して世話人の宮崎大学・福田亘博教授、佐賀大学・柳田晃良教授、東北大学・池田郁男教授のご協力により今回の講演会を企画した次第です。講演者は関連分野の最先端に行く研究者であり、素晴らしい講演会となるものと確信しております。この講演が引き金となり、より華々しい成果へと結びつくことを期待して止みません。

CLAは諸外国ではすでに機能性食品として広範に利用されており、米国FDAのGRASが認可され、EUでもNovel Foods承認目前と聞きます。わが国でも、今後画期的な研究の進展が見られ、CLAの機能性がより広く注目されることを期待しています。

この懇話会立ち上げに際し、「CLA研究者へのメッセージ」に引用しました詩人と謝野晶子の「創造は過去と現在とを材料としながら新しい未来を発明する能力です」という言葉を再度引用し、記念すべき時の挨拶と致します。

最後になりましたが、今回の記念会の準備に尽くされた宮崎大学・福田亘博教授に心からの謝意を表します。

